

Supplementary Table S1 設問全体

	<p>【調査対象の定義】 本調査では、主に外科医が参加する国内の学会・研究会を対象とする。 国際学会は含まない。 本アンケートにおける「参加」には、現地参加に加え、Web参加および聴講のみの参加も含む。</p> <p>【分岐構造の概要】 参加状況により後続設問を分岐。 学会規模ごとに開催経験設問を繰り返し取得。</p>			
設問番号	設問文	回答形式	分岐条件	選択肢
0	本研究に同意し、アンケートに回答いただけますか？	単一選択	全回答者	1:本研究に同意し、アンケート回答いたします
【1. 回答者属性】				
1-1	年齢(満〇歳、でお答えください)	数値記入	全回答者	
1-2	性別	単一選択	全回答者	1:男性,2:女性,3:回答しない
1-3	卒業年度(学部卒業年)(西暦でお答えください)	数値記入	全回答者	
1-4	学位取得	単一選択	全回答者	1:あり,2:なし
1-5	勤務先所在地	単一選択	全回答者	47都道府県(北海道～沖縄)、国外
1-6	主たる勤務医療機関(以下、同じ)の母体はどれですか？	単一選択(「その他」のみ自由記載可)	全回答者	1:大学病院(旧国公立) 2:大学病院(私立) 3:国立病院機構 4:都道府県立病院 5:市町村立病院 6:公的病院(日赤、済生会など) 7:私立病院 8:診療所 9:その他(自由記載)
1-7	勤務医療機関の種類はどれですか？	複数選択可(「その他」のみ自由記載可)	全回答者	1:一般病床を中心とする、急性期病院 2:療養病床を中心とする、慢性期病院 3:特定機能病院 4:地域医療支援病院 5:診療所(無床) 6:診療所(有床) 7:その他(自由記載)
1-8	勤務医療機関における現在の役職は以下のどれですか？	複数選択可(「その他」のみ自由記載可)	全回答者	1:理事長 2:院長 3:副院長 4:診療部長 5:部長 6:副部長 7:医長 8:医員 9:レジデント(後期研修医を含む) 10:初期研修医 11:教授 12:准教授 13:講師 14:助教 15:研究生 16:大学院生 17:その他(自由記載)

日本消化器外科学会雑誌59巻6号掲載予定記事の先行公開

1-9	先生のご専門領域はどれですか？	単一選択（「その他」のみ自由記載可）	全回答者	1:食道 2:胃 3:肝胆膵 4:大腸 5:救急 6:一般外科 7:その他（自由記載）
1-10	医師の時間外労働の上限規制の適用分類に関して、2025年7月時点であなた自身に当てはまる水準は次のうちのどれですか？	単一選択	全回答者	1:A 2:B 3:連携B 4:C-1 5:C-2 6:どれもない（専門業務型裁量労働制適用者、休職・休業中など） 7:わからない
【II. 学会参加・発表の実態】				
2	主に外科医が参加する学会・研究会の参加・発表状況についてお尋ねします。国際学会は除いてお答えください。			
2-1	発表回数の平均は年間何回でしたか？（過去3年程度、Web参加も含む）	単一選択	全回答者	1:1～3 2:4～6 3:7～9 4:10～12 5:13～15 6:16～19 7:20～29 8:30以上 9:発表していない
2-2	発表に関わる年間自己負担額（交通費、宿泊費、参加費）は平均でどの程度ですか？	単一選択	2-1で1～8を選択した回答者	1:5万円未満 2:5～10万円未満 3:10～20万円未満 4:20～30万円未満 5:30～40万円未満 6:40～50万円未満 7:50～60万円未満 8:60～70万円未満 9:70～80万円未満 10:80～90万円未満 11:90～100万円未満 12:100万円以上
2-3	学術集会等への演題の応募は、回答者ご本人の希望で応募していますか？	単一選択	2-1で1～8を選択した回答者	1:すべて本人希望で応募している 2:多くは本人希望で応募している 3:半分は自分の希望で発表している 4:自分の希望で発表することは少ない 5:自分の希望で発表することはない（全て言語・非言語的な指示による）
2-4	「演題数が募集目標に達していないため」という理由で演題登録を依頼された経験はありますか？	単一選択	2-1で1～8を選択した回答者	1:多数回ある,2:何回かはある,3:ほとんどない,4:ない
2-5	1回の学会の平均滞在時間をおこたえください。	単一選択	2-1で1～8を選択した回答者	1:1～3時間 2:3～6時間 3:6時間以上 4:宿泊を伴う（1日以上） 5:宿泊を伴う（2日以上） 6:宿泊を伴う（3日以上）

日本消化器外科学会雑誌59巻6号掲載予定記事の先行公開

2-6	会場の滞在時間に影響を与える要素を選んでください。	最大3項目まで選択可	2-1で1～8を選択した回答者	1:とくに外的影響はうけない 2:病院業務との兼ね合い 3:家庭との兼ね合い 4:金銭的な事情 5:共同演者（指導者） 6:座長 7:興味のあるセッション（自身の役割なし） 8:同時開催の研究会 9:学会懇親会や個人的会合など 10:その他（自由記述）
【III. 日本消化器外科学会「総会」および「大会」の参加状況】				
3-1-1	過去3年間で消化器外科学会総会へ参加しましたか？	単一選択	全回答者	1:すべて参加した, 2:参加した回と参加していない回がある, 3:すべて参加していない
3-1-2	過去3年間で消化器外科学会大会（JDDW）に参加しましたか？	単一選択	全回答者	1:すべて参加した, 2:参加した回と参加していない回がある, 3:すべて参加していない
3-2	不参加の理由を選択してください。	最大3項目まで選択可（「その他」のみ自由記述可）	3-1-1または3-1-2で「2,3」を選択した回答者	1:発表予定がなかった 2:業務があり参加が難しかった 3:私的な事情（育児・介護に従事するため） 4:私的な事情（体調不良であったため） 5:他学会と日程が重なった 6:プログラムに強く関心を持てなかった 7:開催形式（対面のみ/オンラインのみ）が自身の状況に適さなかった 8:開催場所が参加しづらい場所だった 9:費用負担が大きいと感じた 10:その他（自由記述）
3-3	消化器外科学会総会と消化器外科学会大会（JDDW）の両方に参加することについて、あなたの考えに近いものをお選びください。	単一選択（「その他」のみ自由記述可）	全回答者	1:両方に積極的に参加したいと思っている 2:どちらか一方に参加すれば十分だと感じている 3:消化器外科学会総会だけに参加すれば十分だと感じている 4:DDWだけに参加すれば十分だと感じている 5:消化器外科学会総会の開催場所によって毎年判断している 6:演題の採否を見て毎年判断している 7:どちらも積極的に参加したいとは思わない 8:特に意識していない 9:その他（自由記述）
【IV. 恩恵調査】				
4-1	過去3年程度で参加した学会・研究会のうち、以下の恩恵を得られたと感じたものの割合を教えてください。			
	A 異なる分野の知識や方法を組み合わせた新たな知見の獲得	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	B 専門性を深めることによる研究の質の向上（高度な技術的・理論的助言をうけた、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	C 研究の方向性の適切な修正（研究テーマの再考や新たな仮説の提示につながった、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	D プレゼンテーション技術の向上	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	E 臨床応用・社会的インパクトの評価（研究の実用化や臨床応用の可能性に関する議論があった、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	F データの妥当性・再現性の評価（統計・方法論の改善提案をうけた、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	G 共同研究の可能性（他施設・他分野とのコラボレーションの機会を得た、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
	H 若手研究者の育成（指導・教育的なフィードバックを受けた、など）	単一選択	全回答者	1:9割以上の会で得られた, 2:7割以上, 3:5割以上, 4:3割以上, 5:3割未満, 6:わからない
4-2	恩恵を最大限に生み出すための、理想の学会・研究会「発表」回数は年間何回くらいと考えますか？	単一選択	全回答者	1:1～3, 2:4～6, 3:7～9, 4:10～12, 5:13～15, 6:16～19, 7:20～29, 8:30以上
4-3	恩恵を最大限に生み出すための、理想の学会・研究会「参加」回数は年間何回くらいと考えますか？ ※Web参加や聴講のみの参加も含みます。	単一選択	全回答者	1:1～3, 2:4～6, 3:7～9, 4:10～12, 5:13～15, 6:16～19, 7:20～29, 8:30以上
【V. テーマの重複について】				
5-1	ご自身が主に継続して取り組んでいる発表テーマはいくつありますか？（過去3年程度）	単一選択	2-1で1-8を選択した回答者	1:1つ, 2:2つ, 3:3つ, 4:4つ, 5:5つ以上, 6:とくにテーマはない
5-2	同一テーマについて年に複数回発表したことがありますか？	単一選択	2-1で1-8を選択した回答者	1:ある, 2:ない
5-3-1	最も発表回数が多いテーマについて、発表回数は年間平均何回でしたか？	単一選択	5-2で「1」を選択した回答者	1:2回, 2:3回, 3:4回, 4:5回以上

日本消化器外科学会雑誌59巻6号掲載予定記事の先行公開

5-3-2	最も発表回数の多いテーマについて、発表内容はどのくらい重複していましたか？	単一選択	5-2で「1」を選択した回答者	1:90%以上重複（ほぼ同じ内容） 2:60～90%重複（一部データを変更など） 3:30～60%重複（データ解析を追加など） 4:0～30%重複（大きく異なる内容） 5:わからない
5-3-3	消化器外科学会総会で発表したテーマと同じテーマについて、同じ年に他の学会・研究会で発表したことがありますか？	単一選択	5-2で「1」を選択した回答者	1:ある,2:ない
5-3-4	消化器外科学会総会で発表したテーマと同じテーマについて、同じ年に発表した会を選択してください。	複数選択可	5-3-3で「1」を選択した回答者	1:学会, 2:研究会, 3:その他
5-3-5	同じテーマについて複数回発表することのメリットと感ずる点を選んでください。	複数選択可（「その他」のみ自由記載可）	5-2で「1」を選択した回答者	1:発表のたびに理解が深まる 2:発表のたびにプレゼン能力が向上する 3:会ごとに異なるフィードバックが得られる 4:短い時間で準備が可能 5:倫理審査などの手続きの回数を減らせる 6:業績が増える 7:その他（自由記述）
5-3-6	同じテーマについて複数回発表することのデメリットと感ずる点を選んでください。	複数選択可（「その他」のみ自由記載可）	5-2で「1」を選択した回答者	1:新規性に乏しい 2:聴衆や演者が似通っており学術的な発展を感じにくい 3:発表準備の労力が重複する 4:時間的負担が大きい 5:義務的にこなす発表が増える 6:その他（自由記述）
5-3-7	現在の状況は、メリットとデメリットのどちらが多いと感じますか？	単一選択	5-2で「1」を選択した回答者	1:メリットが多い, 2:同じ, 3:デメリットが多い, 4:わからない
【VI. 学会・研究会の開催経験】				
6-1	学会や研究会の開催運営の何らかの実務に関与した経験はありますか？ (過去3年間程度。会長や主要責任者に限らず、スタッフとしての関与も含みます)	単一選択	全回答者	1:はい, 2:いいえ
【VII. 開催の状況】				
7-1	開催運営に携わった学会もしくは研究会をお答えください。	最大3項目まで選択可（「その他」のみ自由記載可）	6-1で「1」を選択した回答者	1:参加者数が5000人以上の学会（例：日本外科学会、消化器外科学会） 2:1000～5000人未満の学会（例：日本内視鏡外科学会、臨床外科学会、胃癌学会、肝胆膵外科学会、大腸肛門病学会など） 3:500～1000人未満の全国学会（腹部救急学会など） 4:500人未満の「全国」規模の学会もしくは「全国」規模の研究会（例：手術手技研究会など） 5:「地域」単位の学会もしくは「地域」単位の研究会（例：●●学会●●支部会、外科集団会など） 6:その他（自由記載） 7:回答しない
7-2	開催運営に関わる業務に対し給与は発生しましたか？	単一選択	6-1で「1」を選択した回答者	1:多くは給与が支払われた 2:一部は給与が支払われた 3:ほとんど給与は支払われなかった 4:無償で対応した 5:わからない
【VIII. 開催の詳細】 (本設問群は、設問7-1で該当する学会規模を選択した回答者に対して、各規模ごとに同一内容を繰り返し取得した)				

日本消化器外科学会雑誌59巻6号掲載予定記事の先行公開

8-1-1	どのような役割で開催運営に携わりましたか？	複数選択可（「その他」のみ自由記載可）	7-1で該当規模（1-6）を選択した回答者（各規模ごとに回答）	1:全体統括（会頭、事務局長、世話人など） 2:会場確保 3:資金集め 4:演題集め 5:査読 6:プログラム編成 7:事務手続き 8:懇親会企画 9:広報 10:当日スタッフ 11:その他（自由記述） 12:回答しない
8-1-2	開催運営に携わることの魅力だと感じたことを選んでください。	最大3項目まで選択可（「その他」のみ自由記載可）	7-1で該当規模（1-6）を選択した回答者（各規模ごとに回答）	1:専門分野や研究の発展に直接貢献できた 2:運営を通じて、他の研究者・医師とつながりができた 3:企画・運営を通じてリーダーシップを発揮できた 4:若手医師・研究者の育成に関わることができた 5:業績として評価されたり、キャリア形成につながった 6:企業・スポンサーとのネットワークを築けた 7:同僚や後進と学びや経験を共有できた 8:地域の医療水準の向上に寄与できた 9:会の開催を通じて地域社会に貢献できた 10:特に魅力を感じなかった 11:その他（自由記述）
8-1-3	開催運営において、どのような点に課題を感じましたか？	最大3項目まで選択可（「その他」のみ自由記載可）	7-1で該当規模（1-6）を選択した者（各規模ごとに回答）	1. 十分な演題数が集まらない 2. セッション数が多く、プログラム編成の負担が大きい 3. 学会運営のサポート会社への委託費が高騰している 4. スポンサー企業からの支援を確保することが難しくなっている 5. オンライン開催・ハイブリッド開催の調整が負担になっている 6. 会の参加者数が減少している 7. 若手の参加意欲が低下している 8. 特に課題と感じることはない 9. その他（自由記述）
8-1-4	ポジティブな要素（充実感や達成感など）とネガティブな要素（疲労感や負担感など）はどちらが大きかったですか？	単一選択	7-1で該当規模（1-6）を選択した回答者（各規模ごとに回答）	1:ポジティブな要素が圧倒的に大きかった 2:ポジティブな要素がやや大きかった 3:ポジティブな要素とネガティブな要素が同じくらいだった 4:ネガティブな要素がやや大きかった 5:ネガティブな要素が圧倒的に大きかった 6:わからない
【IX. よりよい在り方】 学会・研究会の数が多く、参加や発表の機会が分散しているという声も聞かれます。このような現状について、どのような対応が望ましいとお考えですか？将来を見据え、より多くの医師にとって有益で、かつ持続可能な学術集会・研究会のあり方を検討するため、以下の案についてご意見をお聞かせください。 ※評議員選出に必要な参加実績（点数）への影響や、各案の実現可能性については、今回は考慮せずにご回答ください。				
9-1-1	現状のまま維持する	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-1-2	会毎の目的を明確化する	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-1-3	合同開催の機会を増やす	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-1-4	各々の会の運営の効率化を図る	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-1-5	会を統合する	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-1-6	一部の会を廃止する	単一選択	全回答者	大いに賛成/賛成/どちらともいえない/やや反対/大反対
9-2	「学会・研究会のよりよいあり方」について意見があれば記載してください（自由記述）	自由記述	全回答者	
【X. データ共有について】				
10	本アンケート結果は今後、他研究との共同利用をされる可能性があります。外部への調査結果を望まない場合は以下にチェックを入れてください。	単一選択	全回答者	（チェックをいれる）他研究へのデータ共有を望まない